



「第四次総合計画基本構想(案)」を策定しました

令和4年度から12年間の構想(案)を策定し、10月15日(木)まで市民の皆さんの意見をお伺いしています。 ☎ 企画課・内線270

新たな将来都市像 私たちが目指す12年後のまちの姿は

未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子

私たちを取り巻く社会は少子高齢化や人口減少、大規模な自然災害、新たな感染症への対応など、かつて経験したことのない大きな課題に直面しています。これらの課題を乗り越え、先人たちが築き上げてきた文化や歴史、豊かな自然など我孫子ならではの魅力と、誰もが心やすらかに住みたい・住み続けたいと思える、快適で活力ある持続可能なまちを未来へつなぐための将来都市像としました。

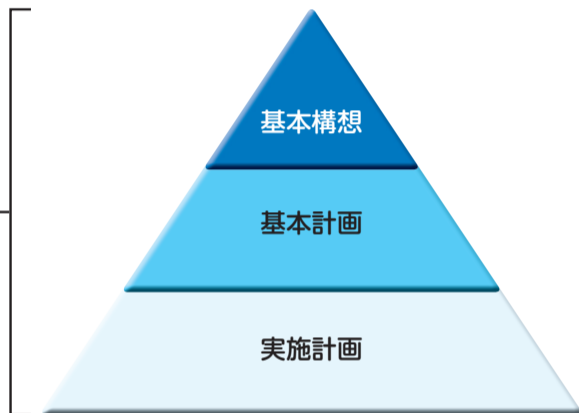
説明

基本構想とは

まちづくりを進めるための基本となる最も大切な計画「総合計画」のうち、将来目指すまちの姿を描いた基本的な目標です。

また、「総合計画」には基本構想を実現するためにどのようにまちづくりを進めるかを示した「基本計画」、具体的に実施する事業を示した「実施計画」があります。

総合計画



目標

将来都市像を実現するための8つの目標

誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり

市民の尊い生命と貴重な財産を守るため、災害や犯罪に強いまちづくりを進めます。
(防災・減災対策、浸水対策など)

誰もが健康で自分らしくともに暮らせるまちづくり

あらゆる人たちが地域の中で、生涯を通じて健康でいきいきと幸せに暮らし続けることができるまちづくりを進めます。
(健康づくりの推進、高齢者・障害者福祉の推進など)

子どもと子育てにあたたかいまちづくり

未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもと子育てにあたたかいまちづくりを進めます。
(妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援、魅力ある学校づくりなど)

活力あふれ にぎわいのあるまちづくり

新たな価値や魅力が創造され、地域経済が持続的に発展するとともに、人がにぎわうまちづくりを進めます。
(企業立地の推進、商工業・農業の振興など)

快適で住み続けたいまちづくり

子どもから高齢者まであらゆる世代が、快適に暮らせるまちづくりを進めます。
(公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備など)

人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり

手賀沼と利根川に抱かれた豊かな自然を大切に、環境に配慮したまちづくりを進めます。
(地球環境・自然環境・生活環境の保全)

人と文化を育むまちづくり

誰もが生涯にわたって文化・芸術やスポーツなどに親しめるまちづくりを進めます。
(生涯学習の推進、歴史文化財の保存・継承など)

誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指したまちづくり

地域に暮らすすべての人が、お互いを認め合い、だれもが自分らしく暮らせるまちづくりを進めます。
(男女共同参画の推進、人権尊重社会の推進など)

推進

計画を推進するため、市民とともに作る協働によるまちづくりの推進、効率的、効果的な行財政運営の推進、戦略的なシティプロモーションなど横断的に取り組んでいきます。

策定

市民の皆さんと一緒に作りました

学識経験者や市民団体、学生など25人で構成する「我孫子市総合計画審議会」のほか、子どもから大人まで幅広い年代に意見をもらうために地域の方、子育て中のお母さん、中学・高校生から直接意見を聞く「あびこみんなのまちかいぎ」や小・中学生へのアンケートを行いました。また、市民アンケートを実施し、市ホームページ(QRコード参照)で結果を公表しています。



▲中学生まちかいぎ



▲高校生まちかいぎ



▲我孫子市総合計画審議会